

令和6年度（2024年度）くまもと県民カレッジ主催講座【前期】

コミュニティビジネスコース

あなたの一步が 地域を変える
～アイデアを活かしてよりよいまちをつくる～

「コミュニティビジネス」とは、子育て支援や災害対応など、みんなが暮らしやすいまちをつくるための活動のことです。本講座では、県内の事例紹介と、活動を継続させるための資金調達や事業計画等の具体的な方法について学びました。



第1回 地域課題を「自分事」に 6月21日(金) ～コミュニティビジネスとは～

東海大学 文理融合学部
教授 萩野 誠 先生

①コミュニティビジネスとは②地域課題とは③なぜビジネスにすることが重要なのか④「もっとも容易なコミュニティビジネス発見方法」では、地域で「なくなって困っているもの」を探す市場調査が、コミュニティビジネスをはじめのヒントになると説いた。



第2回 県内の事例に学ぶ 7月5日(金) ～のあそびlaboの4年間～

(一社) のあそびlabo
代表理事 中村 光成 先生

4年前に立ち上げた「のあそびlabo」の拠点となる、空きビルを活用した「のあそびlodge」のDIYがキッカケで、荒尾のまちづくりに携わる。助成金などを活用し、環境を整備。ホテル、カフェ、マルシェ、ツアーなど多様な事業を展開してきた活動とこれからについて紹介。



第3回 コミュニティビジネスのための資金調達 7月12日(金) ～補助金・クラウドファンディング等～

(一財) くまもと未来創造基金
プログラムオフィサー 宮原 美智子 先生

熊本地震復興支援活動を経て財団を設立。集まった支援は2億7483万2069円。助成団体延べ113団体・奨学生7人。「自分たちの地域は自分たちで守る」ドイツ研修で学んだ心構えにはじまり、「思いだけではことはなりません」と、資金の組み立て方のノウハウなどの情報を伝授。



第5回 県内の事例に学ぶ 7月26日(金) ～ひとりて頑張りすぎず、みんなで子育て～

(一社) 子育てネットワーク縁側 moyai
代表理事 オノ ユリ 先生

「支え合いながらみんなで一緒に子育てする場を作りたい」とはじまった、熊本を中心にした子育てネットワーク。12年目で、会員数約600人。子育て情報発信、情報交換の場の提供、親子イベント等、動画も交え紹介。子育て世帯からのSOSや課題も浮き彫りとなりました。



第4回 夢実現に向けて 7月19日(金) ～企画から実践へのワークショップ～

熊本県立大学
名誉教授 森 美智代 先生

行政と住民の協働、地域の産物を中心とした地域住民の協力、観光への呼び込みの事例、「道の駅」を中心とした地域ビジネス、外国の人との協力等、足を運んで集めた事例、それぞれのメリットや課題を紹介。売上のための目標を見出す、損益分岐点の算出方法も。



▲第2回の様子。時にはメモを取りながら、熱心に耳を傾ける受講生の皆様。コミュニティビジネス初心者も、活動を深めたい方も、5講座をおし学びを深めました。



▲第3回の様子。「どんな地域課題があるか?」「そのためにどんなことをしたい(している)のか?」など、思いを具体化するために書き出すワークショップも。

受講生の感想

- ・ 知識が増えた。友人も出来た。熱心な受講生が多かった。
- ・ 実践例がとてもためになった。中味の濃い講座でした。
- ・ 日頃、自分で活動している仕事や活動を見直したり、同じような問題を抱えている方との交流等前向きに資格を取りたいと思い、挑戦することにしました。

